

北海道のニュータウンの これまでとこれから



写真：札幌市真駒内柏丘

2026年1月27日（火）
18:00～19:30（受付 17:45～）
札幌市立大学サテライトキャンパス
大会議室

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階

開発から50年前後の時間が経過した北海道のニュータウンでは、潤沢な公共投資を通じた良好な住環境が現在でも維持されている一方、急激な少子高齢化や基盤施設の老朽化などの課題も浮き彫りになっている。近年では、複数のニュータウンで土地利用や施設配置の再編に向けた検討が進みつつある。

本研究会では、北海道のニュータウンを対象とする研究を行ってきた研究者をお招きし、開発当初の住宅地計画のコンセプトから現況、そして今後に向けたニュータウンの価値の継承と課題解決のあり方について議論を深めていきたい。

【話題提供】

（株）まちづくり計画設計 取締役 統括技師

松村 博文（道総研フェロー）

博士論文「母都市との連携性から見た次世代ニュータウンに向けた再生と地域マネジメント」, 2015年3月

<https://doi.org/10.14943/doctoral.k11897>



北海道大学大学院工学院

新井 創太（博士前期課程）

卒業論文「立地適正化計画の居住誘導区域外にある飛び地的住宅地に関する行政的課題」, 2024年3月

<https://bit.ly/3KqrUWi>



参加費 : 無料

申込先 : <https://forms.gle/BS3amRjzkuKcQ1Rn8>

（右下の二次元バーコードからも申込できます）

申込締切 : 2026年1月20日（火）

問合せ先 : 坪内健（北海道大学）

k.tsubouchi@eng.hokudai.ac.jp

